

**平成24年度 第1回 東京都地方独立行政法人評価委員会
高齢者医療・研究分科会議事概要**

1 日 時

平成24年6月7日（木曜日） 午後1時56分から午後3時52分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N3

3 出席委員

高久分科会長、河原委員、近藤委員、鈴木委員、南委員（分科会長を除き、五十音順）

4 議 題

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第二期中期目標（案）に関する意見聴取

5 報告事項

平成24年度の評価委員会開催スケジュールについて

6 議事概要

開会

○高齢社会対策部施設調整担当部長より挨拶

(1) 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第二期中期目標（案）について

○事務局より地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第二期中期目標（案）について説明（資料1から資料5）

【委員意見】

- 第二期中期目標作成に際し、診療報酬の改定の内容を具体的に盛り込めば、国の政策とリンクした病院部門機能の充実が図れる目標設定になると思う。
- 今回の診療報酬制度の改定では国の医療政策における到達点が示されているが、各医療機関も、自院が目指す目標や特徴を患者や院内の医療従事者、地域の医療機関に打ち出してアピールしていかなくてはならない。
- 救急診療部や緩和ケア内科について、まずは開設をしたという段階であり、殆どの医師が兼務であるなど体制は十分とは言えない。第二期に向け、てこ入れが必要である。
- 第二期中期目標（案）の中に内部監査体制とあるが、「業務監査」や「業績の監査」など、監査の内容をはっきりと提示できる表現の方がよいのではないか。
- また、コスト管理とあるが、抽象的な表現であるため、具体的なコストをきちんと計算して分析するという意味合いが入った表現がよい。
- リスク管理について、コスト管理と同じようにリスク管理とすると抽象的になってしまう。リスクの分析と管理のような表現にしたらいかがか。
- 危機管理体制について、震災が起きたことを想定すると、要介護認定を受けている方は、避難所に入るわけにはいかない。自治体等と協働して、要介護者の情報を共有し、センターに福祉避難所としての機能を持たせるなど、地域のニーズに対応することを検討してもらいたい。

- 研究所においては、様々な視点から研究に取り組んでおり、成果が期待される。特に認知症の医療・研究は注目を集めている問題であり、成果について積極的にPRをした方がよい。
- 今後都市部の高齢者が益々増えていく中で不安視されることは、みとりをどこですかということである。センターでみとりに関する研究や体制づくりを行ってほしい。
- 非常時を想定した取組みについて、医療スタッフが非常時に参集できる体制を整備することや、大量に使用するであろう医療用の水の確保等、現実的な問題と捉えて具体的な施策を展開してほしい。
- 災害対策については、東京都医師会において様々な計画策定を行っている。これらの計画の中で、センターの役割も明確になるだろう。今後の災害対策については、医師会と十分に連携をとって進めてほしい。

(2) 報告事項

○事務局より、今後の評価委員会及び分科会の開催スケジュールについて説明（資料6）